

## 第3章 指導方法の検討

### 概 要

平成11年7月に出された「学習障害及びこれに類似する学習上の困難を有する児童生徒の指導方法に関する調査研究協力者会議」の最終報告書では、学習障害児に対する指導に関して、個々の実態に応じた指導を行うことの必要性和共に、個に応じた指導の充実を図る観点から、教科学習の困難の程度に応じた指導形態や指導の場として、通常の学級における指導、チームティーチングによる指導、通常の学級以外の場における指導、専門家による巡回相談等の内容が提言されている。

本章では、これらの提言を受け、プロジェクト研究の中で実施してきた学習障害あるいはそれに類する児童生徒に対する指導事例をもとに、通常の学級、特殊学級等の各指導の場における支援体制の在り方や指導方法について検討した結果を報告する。

第1節では、学習障害あるいはそれに類する児童生徒に対する教育的対応の基本について略述した。また、第2節では、通常の学級、情緒障害通級指導教室、言語障害特殊学級、民間機関における各指導事例を通じて、学習障害あるいはそれに類する児童生徒の支援体制及び指導方法について検討した。